

繊細でありながらも力強さを感じるのは、施されたカービングに生命感があるからだろう。芸術と呼ぶにふさわしいカービングはただ立体感があるだけではない。類を見ない絶妙なグラデーションが素晴らしい。



作品が芸術になってしまう技術。

ウエスタンサドルに魅せられ、カービングに魅せられた男。
何もわからずアメリカに渡り、技術と精神を磨いてきた。
そして現在その男の作品は、人を魅了するようになった。



大塚孝幸

おおつかたかゆき。40歳。群馬県在住。「Taka Fine Leather JAPAN」ウエスタンサドルメーカー。日本で唯一馬の鞍を作ることができるレザークラフマン。97年アメリカでの修行から帰国後、国際レザークラフトコンテストで優勝。そのカービング技術は世界トップレベル。アメリカのシェリダスタイル本の翻訳者、レザークラフト教室の講師としても有名。

写真：河合宏介 文：新井真一 取材協力：Awake